

関連行事

記念講演会

第1回

『知』に飢えた時代～人々はかく学んだ～

講師 定兼学氏(岡山県立記録資料館 館長)
日時 5月28日(日) 午後1時30分～3時

第2回

「歴史の中に『学び』を探る」

講師 山中芳和氏(岡山理科大学教育学部学部長)
日時 6月11日(日) 午後1時30分～3時

会場 いずれも、岡山県立博物館 講堂
定員 140名(先着順)
その他 事前申込不要、聴講無料

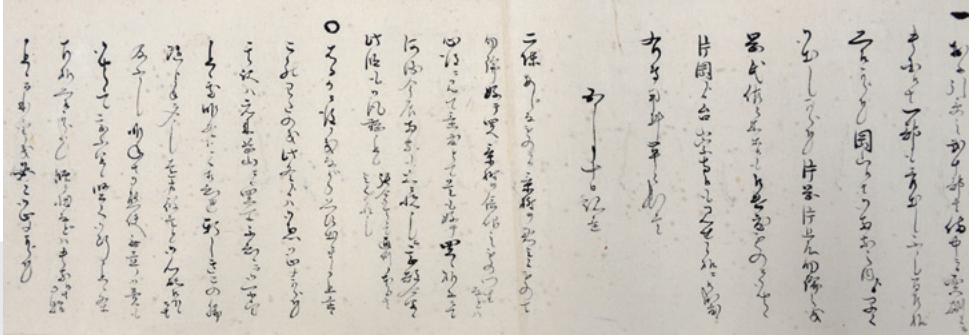
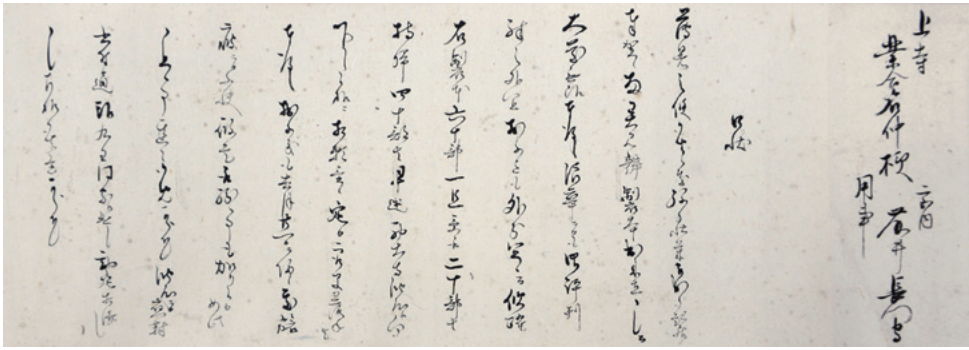
特別展示解説

「江戸時代の女性達のまなび」

講師 妻鹿淳子氏(女性史研究者)
場所 岡山県立博物館 第2展示室
日時 6月17日(土) 午後2時～3時

連携展示解説

日時 5月27日、6月3・10・24日、7月1日
いずれも土曜日
岡山県立博物館:午後1時～/
林原美術館:午後2時30分～



美合大枝宛藤井高尚書状 岡山大学附属図書館蔵

寛文9(1669)年、備前岡山藩を治めていた初代藩主池田光政(1609～82)が、藩士の子弟を教育する機関として「藩学校」を日本で初めて設立しました。翌年には、領内の庶民教育のために閑谷学校を創建し、人々の教育を進めていきました。

江戸時代の半ば以降、県内各地に寺子屋や私塾が設置され、村や町において学びの場が整えられていきました。『日本教育史資料』によると、明治16(1883)年の時点で、寺子屋が1031校(全国3位)、私塾が144ヶ所(全国1位)開業していました。

また、吉備津神社の藤井高尚たちによる国学や、津山藩の笈作家や宇田川家による洋学、それ以外の分野においても様々な学びが盛んに行われました。

本展覧会では、江戸時代を中心に、県内各地で行われた人々の学びにかかわる文化財をとり上げ、教育県としての岡山の歴史について紹介します。

江戸時代の 岡山の学び

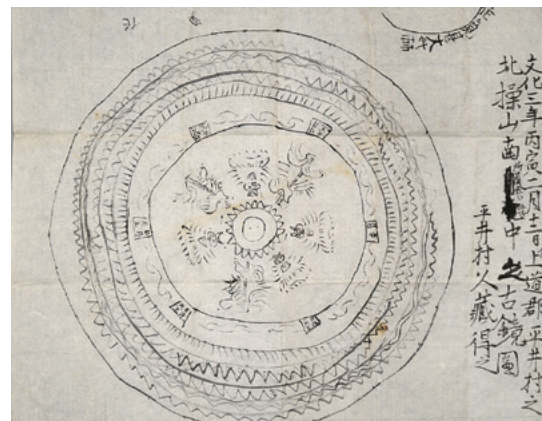
— 教育県の源流 —



修道館扁額 津山郷土博物館蔵



書見台、出席帳、拍子木 個人蔵



古鏡之図 個人蔵



交通の御案内 JR岡山駅(東口)から ●徒歩(約25分)
●路面電車(約5分)【東山行】城下下車 徒歩(10分)
●バス(岡山駅バスターミナル1番のりば)岡電バス(約20分)
【藤原団地行】後楽園前下車すぐ

岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum
岡山後楽園前 〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号
TEL.086-272-1149(代表) FAX.086-272-1150
URL http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm



教諭所開講につき倉敷代官所触書
倉敷市歴史資料整備室蔵